

平成20年度 厚生労働省がん研究助成金班会議
「造血器腫瘍の発症と難治化に関わる分子標的の基礎的・臨床的研究」

11月21日(金) 午後1時—午後6時45分
11月22日(土) 午前9時—午後12時35分
東大病院入院棟 A15階大会議室（別紙地図）

11月21日(金)
（挨拶）

黒川峰夫（東京大学）

セッション1 白血病・リンパ腫発症機構1（座長 黒川峰夫）

1:00-1:18 Evi-1による造血幹細胞制御と白血病発症

合山進、仁田英里子、吉野哲也、賀古真一、市川幹、高橋強志、
半下石明、今井陽一、黒川峰夫（東京大学血液・腫瘍内科）

1:18-1:36 AMLにおけるHoxa9/Meis1の役割

中村卓郎、菅野陽平（癌研究所発がん研究部）

1:36-1:54 MLL融合タンパク質によるトランスフォーメーションの分子メカニズム

横山明彦、北林一生（国立がんセンター）

1:54-2:17 MOZ/MLLによるPU.1の制御と白血病

北林一生（国立がんセンター）

2:17-2:35 AML原因遺伝子Trib1の機能解析：MEK1-ERK経路における役割

横山隆志、中村卓郎（癌研究所発がん研究部）

セッション2 白血病・リンパ腫発症機構2（座長 中村卓郎）

2:35-2:48 Down症候群関連白血病の分子標的の基礎研究

土岐力、金崎理香、伊藤悦朗（弘前大学大学院医学研究科 小児科）

2:48-3:11 NPM1変異体による急性骨髄性白血病の発症機構の解析

加藤規子、蓑田朋子、加藤順也（奈良先端科学技術大学院大学）

3:11-3:29 リンパ腫発症におけるLarge Maf転写因子群の機能解析

高橋智（筑波大学 大学院人間総合科学研究科）

3:29-3:47 造血器腫瘍におけるエピジェネティクス解析と治療への応用

大木康弘（愛知県がんセンター）

3:47-4:00 当院での非ホジキンリンパ腫患者の染色体検査施行の現状

谷本一樹（九州医療センター）

（休憩）（4:00-4:15）

セッション3 幹細胞（座長 瀧原義宏）

4:15-4:33 HAT 複合体構成因子 Brd1/Brpf2 による造血制御

岩間厚志（千葉大学大学院医学研究院細胞分子医学）

4:33-4:56 造血幹細胞制御における HOX 遺伝子の働き

瀧原義宏（広島大学原爆放射線医科学研究所 幹細胞機能学）

4:56-5:09 Evi1 による細胞接着制御機構

山川哲生、森下和広（宮崎大学医学部機能制御）

5:09-5:22 Hairy enhancer of split-1 (Hes-1)による造血前駆細胞の不死化と白血病発症への関与

中原史雄、坂田(柳元)麻実子、熊野恵城、北浦次郎、黒川峰夫、小川誠司、北村俊雄、千葉 滋
(東京大学医科学研究所先端医療研究センター細胞療法分野、東京大学血液・腫瘍内科、
東京大学無菌治療部、筑波大学血液内科)

5:22-5:40 白血病幹細胞化の標的遺伝子候補 MCL-1 の役割

宮本敏浩、赤司浩一（九州大学・血液腫瘍内科）

5:40-6:03 Real time imaging of hematopoietic stem cells

大里元美（National University of Singapore）

特別講演1（座長 岩間厚志）

6:03- GATA1 関連白血病

山本雅之（東北大学 医学系研究科）

（懇親会）（7:00～）

11月22日(土)

セッション4 白血病・リンパ腫発症機構3（座長 稲葉俊哉）

9:00-9:18 ノックアウトマウスとretrovirus insertional mutagenesisを用いた7q-候補遺伝子TITANの
白血病発症における役割の解析

本田浩章1、長町安希子2、麻生博也2、宮崎和子1、松井啓隆2、安藝大輔2、
尾崎佑子2、山崎憲政2、小田秀明3、稲葉俊哉2

(1 広島大学原爆放射線放射線医科学研究所組織再生制御研究分野、
2 広島大学原爆放射線放射線医科学研究所がん分子病態研究分野、3 東京女子医科大学第二病理学教室)

9:18-9:36 慢性好酸球性白血病モデルにおける全身性肥満細胞症

山田佳之、Marc Rothenberg、林泰秀（群馬県立小児医療センター）

9:36-9:49 PU.1 発現低下細胞におけるエピジェネティックな制御異常

高橋伸一郎（北里大学医療衛生学部血液学）

9:49-10:07 LeukemogenesisにおけるWT1遺伝子のoncogenic機能

杉山治夫、尾路祐介（大阪大学大学院医学系研究科 機能診断科学）

10:07-10:30 iPS細胞を用いた染色体大領域欠損解析系の確立に向けて

松井啓隆、稲葉俊哉（広島大学原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野）

(休憩) (10:30-10:45)

セッション5 AML1/RUNX ファミリー (座長 北林一生)

10:45-11:03 マイクロ RNA による Runx1 の転写後制御と骨髄球分化

河府和義、佐竹正延 (東北大学加齢医学研究所)

11:03-11:21 Runx3 過剰発現による T リンパ球の増殖促進と接着因子の発現制御

大森英孝、佐竹正延 (東北大学加齢医学研究所)

11:21-11:34 AML1/RUNX1 欠失変異体が細胞増殖・DNA 損傷修復におよぼす影響

佐藤友亮、松村到 (大阪大学大学院医学系研究科血液・腫瘍内科)

11:34-11:52 造血幹細胞における AML1/RUNX1 による NF- κ B シグナルの制御

中川正宏、今井陽一、西本菜穂子、市川幹、黒川峰夫 (東京大学血液・腫瘍内科)

特別講演2 (座長 黒川峰夫)

11:52-12:35 Runx 転写因子による T 細胞分化制御機構

谷内一郎 (理化学研究所 RCAI)